

鳥羽市避難訓練

地区名	参加者数
鳥羽地区	631人
長岡地区	288人
大明東町	265人
大明西町	
安楽島地区	
鏡浦地区	352人
加茂地区	553人
離島地区	704人
総参加者	2,793人

その他訓練など

その他訓練など	参加者数
職員など	230人
災害対策本部 通信訓練	36人
炊き出し訓練、 避難所運営など	622人
救助・応急対策 活動訓練	99人
総参加者	987人

昨年11月18日に実施した鳥羽市避難訓練には、雨天の中、2,793人のかたが参加しました。地区別の参加者数は表のとおりです。今回の訓練では、市内外の各機関による連携に焦点を当て取り組みました。

これからも、住民のみなさんが防災意識を持ち続け、日頃から「防災」に取り組んでもらえるよう訓練を継続していきますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

平成29年度鳥羽市防災訓練の結果報告

総務課防災危機管理室

☎ 25 1118

一人一人が備えてこ！
防災力UP！鳥羽

vol.55

平成29年度鳥羽市防災訓練

総参加者

3,780人

ご協力ありがとうございました



生埋め者救出訓練



安楽島小学校避難訓練

おせち料理に並んで、お正月にかかせない料理の一つにお雑煮があります。お雑煮は、家族そろって笑顔でお正月を迎えるために大切なご馳走ですよ。

この記事を読んでいるあなたの家の台所からも、おいしいにおいが漂ってきていたりして……

……。(ワンワン)

……。(ワンワンワン)

さて、あなたが今想像したのはどんなお雑煮でしたか？

慣れ親しんだ実家の味？

それともパートナーの実家の味？

たかがお雑煮、されどお雑煮。餅の形や入れる具材、おつゆはすまし汁？白みそ？赤みそ？それともお汁粉仕立てなんていうのも聞いたことがあります。

そう、お雑煮は日本中にさ

さまざまな種類がある奥の深い食べ物なのです。

一説によると、この「お雑煮の味」で、夫婦の力関係が分かる、とまでいわれることがあるそうです。

しかし、育ってきた地域や環境が違えば、生活習慣や食文化などさまざまな面で違いがあるのは当然のことです。

「自分の実家の味がいい」と思い込むだけでなく、パートナーの家の味も知って、認めて、それから「自分たちの味」を作っていけば良いのだと思います。

男女共同参画も、このお雑煮に見る夫婦関係のように、それぞれの違いを否定し合うのではなく、互いに認め合い高めあっていくことを目指しています。

お雑煮の数だけ、家族の歴史があります。私の家のお雑煮も、これからどんな味になっていくのか楽しみです！

イコール
パートナー
シップ

Vol.128



お雑煮と夫婦関係

市民課人権・生活係

☎ 25 1126